



美とふれあいながら、会話しながら、楽しみながら、
美術館の魅力を体現したり、アートの魅力を提供したりしていく…

「～ながラー」！

「～しながら」の「～ながラー」。
会話しながらの「ながら」。

自分のペースでちゃんと関係性をとりながら、
自分のこととして引き受けながら、
相手のことを考えながら。

コミュニケーションというのは当然一人ではできない。
相手があること。二人の間で「ながら」が生まれる。

一人よがりにならずに、もう一つの存在と、対話しながら、関係性をとりながら。

時間に目盛りをつけたり、土地に境界線を引いたり、
色に名前をつけたりしたのは私たち人間ですが、
時間も土地も色にも境はありません。みんな繋がっているのです。

みんな「～ながラー」です。
私とあなたの間にも「～ながラー」。
私とアートの間にも「～ながラー」。

岐阜県美術館長
日比野 克彦

HIKINO.



活動内容・日程については
決まり次第ウェブサイトに掲載します
Q&Aページなどもご参照ください
<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp/ac/>



～ながラーになるには

応募条件

- 16歳以上の方*、日本語で日常会話ができる方
*2020年3月31日時点、ただし18歳未満は保護者の同意が必要
- 美術または美術館に関心があり、積極的に学び、活動する意欲のある方
- 岐阜県美術館からのメッセージを理解し、共感して活動できる方
- 基礎講座全6回に原則としてすべて参加可能な方
(日程) 2020年2/29(土)、3/14(土)、22(日)、4/11(土)、25(土)、5/9(土)
- 2020年5月以降、原則として月2回以上の活動に参加可能な方
- インターネットにアクセスでき、パソコンなどでのEメールの送受信が日常的に可能な方

応募方法

以下の①～③の書類を入れた封筒に
「アートコミュニケーター応募書類在中」と朱記し、
郵送してください。

- ① 応募用紙
岐阜県美術館ウェブサイト「アートコミュニケーター」のページからダウンロードの上、必要事項を記入してください。
- ② 課題「アートコミュニケーターに応募する動機と、その背景になっているあなたにとって重要な体験について」述べてください。美術館での体験でも、美術館での体験でなくてもかまいません。
[書式] A4用紙片面1枚にまとめ、必ず氏名を記入してください。記載様式は自由ですが、A4規格外の用紙使用や裏面への記載は選考対象となりませんのでご注意ください。
- ③ 返信用封筒1通
定型封筒(長形3号)に84円切手を貼付の上、宛先欄に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。

応募書類郵送先

〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐4-1-22
岐阜県美術館 アートコミュニケーター募集担当 宛

※一度提出していただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。
※応募者の個人情報は、アートコミュニケーターの選考に関する以外には一切使用しません。

活動のやくそく

1. アートコミュニケーターの活動は無償です。
2. 交通費、謝礼等の支給はありません。ただし、講座及び随時開催される研修に無料で参加できます。
3. アートコミュニケーターの登録期間は原則1年間とします(今期は2021年3月まで)。次年度以降は本人と岐阜県美術館が双方合意のうえ、年度ごとに登録更新します。
※活動期間に上限を設ける任期制とすることも検討しています。

活動場所

岐阜県美術館など

スケジュール

応募受付期間
2019年11月3日(日・祝)～12月13日(金) 消印有効

↓
1次選考：書類審査
選考結果は2019年12月25日(水)発送で
応募者全員にお知らせします

↓
2次選考：面接
2020年1月17日(金)～19日(日)のいずれか1日
※所要時間は1時間ほど。日時は後日連絡します。

↓
選考結果発表
2020年2月初旬
2次選考対象者全員にお知らせします。



お問い合わせ

岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, Gifu
〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22
Tel 058-271-1313 Fax 058-271-1315
<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp/>

2020年度岐阜県美術館アートコミュニケーター



～ながラー 募集!



岐阜県美術館は
2019年11月3日のリニューアルオープンを機に、
新ビジョンである「美とふれあい、美と会話し、美を楽しむ」を
実現するための試みとして、
「アートコミュニケーター(愛称：～ながラー)」を
募集します!

岐阜県美術館
リニューアルオープンイベント

11/3 (日・祝) **楽美初**

アートコミュニケーターの活動拠点となる、コミュニケーションルームがオープン!
コミュニケーションルームでは、アートコミュニケーターについて質問したり、新しいワークショップを体験したりできるオープンスペースイベントを開催!

年内開催の展覧会はすべて観覧無料! ※～11/2(土)までは休館

募集人数
25人程度

受付開始
2019年11月3日(日・祝)

締め切り
2019年12月13日(金) 消印有効



～ながラーのながれ

アート
コミュニケーターって
ナンヤローネ？

アートコミュニケーター「～ながラー」とは、
アートから生まれるコミュニケーションを大切にして、岐阜に生きる人やテーマと結びつきながら、
美術館を拠点に「アートの縁」を編んでいく存在です。
人と人、人と作品、人と文化をつなぎ、新たな価値や関係を社会にひろげていきます。
世代や職業を問わず、どなたでも歓迎！
ここでは、～ながラーたちの活動を岐阜の川や水に例え、時のながれを表しています。

応募

あなたの経験、湧き出るやる気が源泉！
家や学校、職場とは違う、
あたらしい場としての美術館。

岐阜県美術館からのメッセージ

リニューアルオープンを機に、新たにした基本理念「美とふれあい、美と話し、美を楽しむ」。
美術館は作品を鑑賞するだけでなく、地域性や館のオリジナリティを発信し、人々の交流を通して、
多彩なかたちでアートを体験する場でもあります。リニューアルを機に、アートコミュニケーターたちの
拠点となるコミュニケーションルームを新たに設け、美の楽しみ方を生み出す場としていきます。

基礎ゼミ

全6回の基礎ゼミでアートやコミュニケーションについて学び、
アートの冒険に出かける手がかりを得ます。
美術館で出会った仲間たちと一緒に、準備を始めよう！
講座の例：「きく力」を身につける、チームの作り方、ファシリテーションについて、など



この舟のろう方式

「この舟のろう方式」とは、
一つの舟（＝アイデア）に乗り合わせたチームで
話し合い、活動を展開していく方法。
3人集まったら漕ぎだそう！

岐阜県美術館を
舞台にした
オリジナルの企画を通して、
自分たちの
「やってみたい」を
かたちにします。



実践ゼミ

現場で気付いたことを話し合いながら、
作品鑑賞やワークショップの作り方など、実践のポイントを学びます。

岐阜県美術館の
豊富なコレクションの
新しい
魅力を発見！



多様な人々やテーマを アートで結ぶ

岐阜をアートだらけにする「アートまるケット」や
作家が滞在制作するアーティスト・イン・ミュージアム (AiM) など、
美術館の企画や作品を通して、
水が水車を回し、田畑をうるおすように、
～ながラーの活動が社会へ広がっていきます。

ワークショップなどを通じて、
アーティストや子どもたち、
岐阜に住む人々とともに
創造とコミュニケーションの
場をつくります。

美術館から、 それぞれの活動へ船出

岐阜県美術館で行われるあんなことこんなこと、
～ながラーの活動を、社会へ発信したり、つなげたりしていきます。
広い海に向け、いざ出航！

～ながラーで
培ったスキルや
ネットワークを活かして、
岐阜の魅力を再発見！



岐阜ではじまるアートコミュニケーション、
あなたもやってみませんか？

